

新年のごあいさつ

美波町長



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、ご家族共々ご健勝のうちに、この輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新町「美波町」が発足した祈念の年でありました。新しい町の町長として就任して八ヶ月、新しいまちづくりの礎を築く元年として、旧由岐・旧日和佐から引き継いだ事務事業は勿論、当面の課題として「医療体制の確立」「自治組織の充実強化」「産業の振興」「交流人口の拡大」「災害に強い町づくり」「IT基盤の整備」の六つの事業を重点的に推進しております。今回の合併は、隣接している町と町との合併とはいえ、それぞれが長年に亘り独自の文化・伝統を築いてきた町どおしの合併でありますので、行政の進め方・行政と町民との関わり方等々に差異があり、町民の皆さまには戸惑いも多々あるうかと存じますが、新町としての統一感を一日も早く持つことができるよう積極的に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

さて、国で進めております三位一体改革をはじめ、分権型社会の創造・構築に向けての改革につきましましては、国と地方の役割分担の見直しに向けた検討手順・組織を定める「地方分権改革推進法案」が昨年十二月に成立しました。これにより、いわゆる「第二期の分権改革」がその一歩を踏み出したこととなります。今後は、国と地方の役割分担の見直し、国から地方への権限及び税財源の移譲、国と地方の二重行政の解消

による行政の簡素化などの改革が進められることになってまいります。

また、過疎町村の財源の根幹である地方交付税の算定方法が改正され、人口と面積を算定の基礎とした「新型交付税」が導入されようとしています。導入後の交付税額について総務省では個々の団体ごとに試算、検証をしているようですが、本町はマイナスになるとの試算がでています。

このように、地方自治を取り巻く環境はますます厳しくなってきましたが、今春には高規格「日和佐道路」の北河内 由岐インターチェンジ間（六・二キロ）が供用開始されるという明るい話題もあります。開通しますと旧町間の交通時間が短縮されることはもとより、人と人との交流も深まり絆も強まるものと期待している次第であります。

厳しい財政状況ではありますが、地域の特色を活かし、創意と工夫を凝らしながら、住民一人ひとりが郷土に誇りと強い愛着を持ち、生きがいを実感できる魅力ある町を住民と行政が協働して一つ一つ着実に実現していくことが大切であると考えております。本年も、地域資源の再発見や交流の促進等「小さくとも光る町」にしたい、との強い思いで、町政を運営いたしてまいりますので、ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年が町民の皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心からご祈念申し上げます、新春のご挨拶いたします。